

# 呼吸器外科

## 呼吸器外科の特色



スタッフは2人、東京は三鷹の杏林大学病院呼吸器外科から派遣され常勤医として担っております。当科では主に肺癌、縦隔腫瘍、気胸、その他胸部疾患に対する手術治療を行っています。とくに肺癌に対し、年間100例以上の症例を全て完全胸腔鏡下手術を適応しています。現在、肺癌の鏡視下手術は全国的に広まりつつありますが、完全鏡視下を適応している施設は1~2割そこそこであり、さらに早期のステージを適応している施設がほとんどです。当科では全てに肺癌症例に対し独特の手術手技によって完全鏡視下手術を適応しています。また、同様に縦隔腫瘍に対しても完全鏡視下手術を多く適応しています。年間40症例ほどの気胸症例に対しては2Portによる鏡視下手術を適応しています。研修進行によっては術者として経験をさせていただきたいと考えています。当科の独特の手技を若い先生に伝授し、叶うものであれば全国に通用する呼吸器外科医になっていただきたいと願っており、完全鏡視下手術の手技とその思想を体感して頂ければ幸いです。

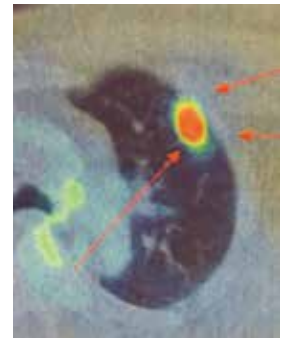
### ▶▶▶ PETで偽陽性を示す肺病変は？

出題

呼吸器外科指導医

古屋 敷 剛

肺がんにかぎらず現在の悪性新生物病態評価のためのPET検査：Positron Emission Tomography は重要です。PET検査の結果によって治療方針が大きく変わる可能性もあります。肺腫瘍はCTだけでは質的診断がなかなか難しいことが多いです。癌かどうかPET検査はとても有用ですが、時々偽陽性や偽陰性も見受けられます。肺がんなのに偽陰性が多くなる例はどのようなものでしょうか？あるいは偽陽性をしめす病態にはどのような鑑別があがるのでしょうか？



# 泌尿器科

研修医

春 谷 千 智

▶出身地

新潟県

▶出身大学

山形大学



排尿障害などのcommon diseaseから悪性腫瘍まで外来での薬物治療からダイナミックな手術まで赤ちゃんから100歳のおじいちゃんまで、泌尿器科ではとにかく「幅広い」研修ができます！  
外科系だけじゃなく内科系志望の人も充実した研修ができますよ。

### ▶▶▶ この血尿の原因は？

出題

泌尿器科指導医

照 沼 正 博

症例) 82歳男性。3年前飲酒後尿閉で近医受診、前立腺肥大症の診断で内服治療継続中。以後排尿状態は良好であった。今朝突然肉眼的血尿出現、徐々に増悪し凝固塊も流出、排尿困難、下腹部膨満も出現したため当院救急を受診した。まず単純CTを撮った。

- 1) CT上の所見は？
- 2) 考えられる病態は？
- 3) まず行うべき処置は？

